

## 新発田市 令和8年度 第2回定例記者会見(HP用)

1 日時 令和8年5月8日(金)午前11時～

2 場所 ヨリネスしばた501・502会議室

3 内容

### 【市長発表項目】

#### ○つなぐ10年、ひろがる未来 イクネスしばた10周年感謝祭

開館10周年を記念して行われる各種イベントについてPRしたい。

#### ○中学生ライフデザイン講座を実施します

市内中学校全10校で行われるライフデザイン講座(生徒たちが自らの人生設計について考える講座)についてPRしたい。

#### ○新発田市チャレンジゼロカーボン推進支援メニュー

令和8年度からの新規事業、再エネ・省エネ設備導入支援メニューをPRしたい。

#### ○おかげさまで20周年！新発田産アスパラガスの恒例イベント

「食のアスパラ横丁、味めぐり」with新発田牛<sup>しばたうし</sup>

20周年をむかえたこの時期恒例のアスパライイベントと、新たに実施する市公式LINEと連携したスタンプラリーをPRしたい。

### 【その他】

○新発田市観光アンバサダーの認定について

○「彩りカラダ整え弁当」を販売します！

○グリーンカーテンプロジェクト2026inしばた苗植え式

○「令和八年度 市民茶会」

○しおかぜウォーク

○ライトミュージックコンサート

○ぼうさいファミリーキャンプを実施

○落谷虹児記念館企画展「宮嶋美明・落谷虹児 ふたり展」

○「えきまえ」と「まちなか」に観光案内所を設置しました

## あいさつ

- GW が明けましたが、お集まりいただき、ありがとうございます。

私は、GW には毎年趣味のキャンプをしていますが、今年は天気が悪く行きそびれました。その代わりにもう一つの趣味である畑作業を毎日やっていました。毎日、水をやったり肥料をやったり、あるいは剪定をしたりと、野菜からは「もうほっといてくれ」と言われなにかと思うほどで、逆に収穫量が落ちないか心配しています。しかし、私にとっては趣味なので、(野菜には申し訳ないが)たいへん楽しいGWを過ごしたところです。

- 5月になり学校や職場も新年度の慌ただしさが落ち着き、しっかりと仕事や勉強ができる時期になったと思っています。

市役所の職員も働くには絶好の季節なので、頑張ってもらいたいと思っていた矢先に、教育委員会や福祉の関係で報道にリリースせざるを得ない事案が発生しました。

たいへん申し訳なく、市民の皆さんに謝罪しようと進めていた矢先に、再度、ミスが発生してしまいました。実に嘆かわしく、すぐに副市長を呼び、「課長に対してしっかりとマネジメントするよう市長名で檄を飛ばせ」と指示しました。

しかし、課長を管理指導するのは、市長の責任です。すべてのミスの責任は私が負わなければならない立場であることから、改めて市民の皆様にお詫び申し上げたいと思っています。

**それでは、会見項目を説明いたします。**

**はじめに、イクネスしばた10周年感謝祭についてです。**

○ 新発田駅前複合施設「イクネスしばた」は、おかげさまで開館10周年を迎えることとなりました。本日は、記念イベントの参加者募集についてご紹介いたします。

○ 初日となる7月4日には、10周年感謝祭オープニングセレモニーを行った後、同会場で新潟県を活動拠点とするアイドルグループ<sup>ねぎっこ</sup>Negiccoが、新潟大学教育学部の有川教授とともに、子育て相談会を行う参加型トークショーを開催します。

<sup>ねぎっこ</sup>Negiccoにはイクネスしばたオープニングイベントにもご出演いただいております、この10年の間にメンバー全員が現役アイドルでありつつママとなり、子育て世代へ力強い応援をしていただけているということで、まさに、時をつなぐ演出となり、大いに期待しております。

○ また同日には、新潟調理師専門学校<sup>の</sup>吉田育子学院長と市長である私との調理実演もあります。

吉田先生は、私が学生時代に師事した方であり、人としての学びやつながりの大切さを教えてくださった方です。

実を言いますと、私自身が包丁を握るのは数十年ぶり、少なくとも30年くらいは包丁を握っていないと記憶していますが、吉田先生との共演ということで、初めて選挙演説を行った時よりも緊張しておりますが、地元の素晴らしい食材を惜しみなく使い、吉田先生の御指導のもと、精一杯10周年の感謝の味を表現したいと思っています。

○ いずれも、定員を設けて開催するイベントですので、広く告知していただけますようご協力よろしく願いいたします。

次に、「中学生ライフデザイン講座」の実施についてです。

- 当市が他市に先駆けてすべての中学校で取り組んでいるライフデザイン講座を、今年度も全ての中学2年生を対象に実施します。
- 令和3年度からスタートしたライフデザイン講座を授業の一環として取り組んでもらうには、保護者や教育現場の理解が必要です。  
しかしながら、子どもたちの将来を見据えたとき、学問と同じように、人生設計も大事であり、理想の将来像のために子どもたちは学びを深めるものと徐々に理解が進み、事業の開始から6年目となる今では、当たり前のように授業の1コマへと成長しております。
- 中学2年生という将来設計がこれからという年代に、生徒自身のライフデザインを自ら描いてもらい、それぞれの目標に向かって今何をすべきかを考えてもらいます。
- 自分の人生をデザインできるのは自分だけです。ライフデザインを実現させるために何をすれば良いか、「最初の一步は小さくても大丈夫」と生徒に呼びかけ、作業を進めます。
- 受講した生徒からは、「将来に前向きになれた」、「目標をかなえるためにもっと努力しなければいけない」、「自分らしく結婚生活を送りたい」、という具体的な意見もいただいております。
- 今後、進学や就職、結婚や出産などのライフイベントを迎える中で、新発田の未来を担う若者たちが、ライフデザイン講座を通して、地域や社会の中での自分らしい将来像を描き、輝く瞬間をぜひ取材していただければと思います。

次に、新発田市チャレンジゼロカーボン推進支援メニューについてです。

- 当市は、温室効果ガス排出量実質ゼロを2050年までに実現させる「ゼロカーボンシティ」を2021年6月に宣言し、地球温暖化対策を進めてまいりました。
- 市内約1万6千灯の街灯や防犯灯のLED化は昨年度で完了し、公立保育園では全国2例目の<sup>ゼブ</sup>ZEB認証となった大峰保育園が開園いたしました。また、3月には新発田地域広域事務組合消防本部が、<sup>ゼブレディ</sup>ZEBreadyを達成して竣工したところです。
- そして、現在は公共施設の照明のLED化を急ピッチで進めているところですが、新発田市がゼロカーボンを実現するためには、行政だけではなく、まちぐるみでの取組が欠かせません。
- これまでも住宅用太陽光発電設備に対する市独自の補助を行っていましたが、これに加え、今年度から4年間に渡り、市民や事業者の皆様が取り組む、再エネ・省エネ設備の導入への支援を強化いたします。
- 4年間の総事業費は約6億9千万円、今年度は約1億4千万円という、大型プロジェクトであります。地元企業や金融機関などの多様な主体が連携、協力する「新発田市脱炭素社会推進パートナーシップ」を基盤として、申請のワンストップサービスや低利融資制度など、設備を導入される皆様に使い勝手の良いメニューをそろえました。
- これらのメニューにより、オール新発田でゼロカーボンシティを目指してまいります。

**最後に、おかげさまで20周年！新発田産アスパラガスの恒例イベント「食のアスパラ横丁、味めぐり with新発田牛」についてです。**

**●～市長 アスパラくんを隣に呼ぶ～●**

- 2007年から始まって、地域の皆さんと共に歩んできた「食のアスパラ横丁、味めぐり」もおかげさまで20周年となりました。現在、絶賛開催中ではありますが、大変大きな好評をいただいております。
- ぐんぐん空に向かって伸びるアスパラガスは生命力にあふれた野菜です。新発田の大地が育んだアスパラガスを、「食のアスパラ横丁、味めぐり」をとおして、たくさんの人に味わっていただきたいと思えます。
- また、今年も新発田牛<sup>うし</sup>を使った、コラボメニューも数多く登場しております。県内ナンバーワンの出荷量を誇る、新発田市の太くて甘くて柔らかいアスパラガスと、上質な肉質を持つ新発田牛<sup>うし</sup>の相性は抜群だと胸を張ってお勧めします。
- 参加店も20年前は10店舗から始まりましたが、20年目の今年は67店舗から参加をいただいております。今年も各店舗が工夫を凝らした和・洋・中のバリエーション豊かなメニューが味わえます。
- 今年のスタンプラリーは、例年の台紙にシールを貼って応募する方法に加え、新たな試みとして新発田市 LINE と連携したスタンプラリーを実施しています。スマートフォン片手に気軽にスタンプラリーがお楽しみいただけます。
- 異なる店舗のスタンプを3個集めてご応募いただくと、抽選で新発田牛や、新発田の地酒、農産物などの豪華景品が過去最大の総勢88名様に当たります。
- また、LINE 限定のスタンプラリー景品もありますので、ぜひパンフレットや新発田市公式ホームページをチェックしていただきたいと思えます。

- 本日はアスパラ横丁のメニューの一部を前のテーブルにてご用意いたしました。私もアスパラメニューの前で、アスパラくんと一緒に試食をと言われておりますので、質疑が終わりましたら、ぜひ皆さんにも撮影と試食をしていただき、ニュースや記事にしていいただきたいと思っております。

本日お知らせする情報は以上になりますが、他にもお配りした資料のとおりイベントなどを予定しております。

報道各社の皆様におかれましては、一つでも多く記事に取り上げていただき、新発田市を御支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。